

## 災害時の救急医療活動がさらに充実

### 久美愛厚生病院が

### 災害拠点病院・DMAT指定病院に

県は久美愛厚生病院を災害

みでした。

拠点病院と岐阜DMAT(※)指定病院に指定しました。

今回の追加指定で、災害医療体制の充実が図られます。

災害拠点病院は、災害時の医療救急活動の中心的な役割を担う病院で、県内ではこれまでに11病院が指定されていますが、広大な面積を有する飛騨地域では高山赤十字病院の

DMATとは災害派遣医療チームの略称で、医師や看護師などで構成。大規模災害の発生直後(発災後おおむね48時間以内)に活動できる機動性を持った専門的な訓練を受けた医療チームです。

久美愛厚生病院では、災害派遣病院の指定要件でもあるDMATの保有体制をかねてから準備していました。今回の指定で飛騨地域では、すでに2チーム保有している高山赤十字病院に続き久美愛厚生病院の1チームが追加されました。

※DMAT: Disaster Medical Assistance Teamの頭文字をとり、略してDMAT(ディーマット)といいます。県内には11病院に20チームのDMATがあります。

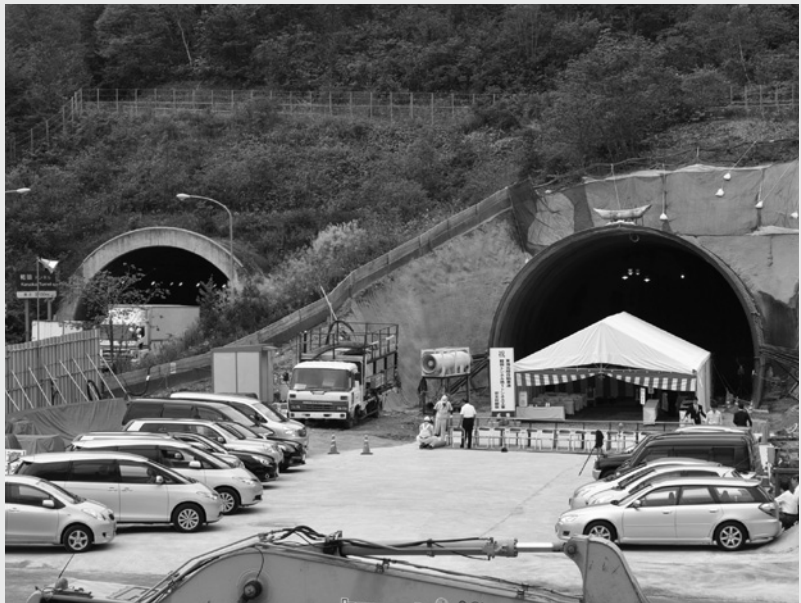
問合せ 医療課 ☎35-3177



9月11日に県庁で協定を締結した久美愛厚生病院の堀明洋院長(写真左2番目)

## 軽岡トンネルで工事安全祈願祭

### 東海北陸自動車道4車線化工事 いよいよ高山市側に



東海北陸自動車道の4車線化に向けて工事安全祈願祭が行われた下り側の軽岡トンネル(写真右手のトンネルです)

東海北陸自動車道の4車線化に向けて新設する下り側「軽岡トンネル」の工事安全祈願祭が8月28日、荘川町六廐の建設予定地でありました。

車国道。平成20年に全線開通し、このうち4車線化しているのは郡上市の白鳥インターチェンジ(IC)までで、白鳥ICと飛騨清見IC間の40.9kmは平成25年に着工しています。

見IC間に新設する計11トンネルの一つで、延長は最も長い2.754mもあります。

なお、白鳥ICと飛騨清見IC間の4車線化工事は平成31年3月の完成予定です。

一宮市から富山県小矢部市までの約185kmを結ぶ高速自動

東海北陸自動車道は愛知県標高約1,050mにある同トンネルは、白鳥ICと飛騨清

### Topic

#### 4車線化

―目的と整備効果―

■白鳥ICと飛騨清見IC間の渋滞解消

観光シーズンなどに慢性的な渋滞が発生し、中部縦貫自動車道との合流部をはじめ、周辺道路交通にも影響がありました。4車線化後は緩和します。なお、制限速度は他の4車線区間と同様に80km/時です。

■重大事故や維持管理作業に伴う交通障害の抑制

中央分離帯のポールは4車線化により強固なガードレールになります。また除雪作業や点検作業時は、車線を全面通行止にしましたが、4車線化により1車線を規制すればよいので通行止めは不要となります。

問合せ 中日本高速道路株式会社  
名古屋支社岐阜工務事務所  
☎0575-8310201